



De Parte del
Pueblo Japonés

令和 2 年度

草の根・人間の安全保障無償資金協力

アレマン病院医療機材整備計画



（左から ロランド・エルナンデス労働組合 FETSALUD 書記長、ケニア・グリージョ・アレマン病院院長、鈴木大使）

2021 年 11 月 18 日、マナグア市の県立ニカラグア・アレマン病院において、「アレマン病院医療機材整備計画」により救急処置室、手術室、集中治療室に整備された 7 機種 27 品目の医療機器の供与式が執り行われました。

アレマン病院は、新型コロナウイルス感染症指定病院の一つで、全国から訪れる感染の疑いのある患者に対応していますが、救急処置室、手術室、集中治療室の医療器材が不足・老朽化しているため迅速な対応ができませんでした。本件支援により、日本で製造され発送された医療器材が導入されたことで、患者の待ち時間が短縮され、手術の遅延等も解消され、新型コロナウイルス感染症対策を含めた医療サービスが向上し、人命が救助されます。

鈴木大使は、ニカラグアで初めて感染者が確認されて以来、休まず奮闘しているアレマン病院の医療関係者に敬意を表し、この器材で診断と救急医療の質を向上していただきたいと述べました。日本は引き続き、誰一人取り残されないよう、終息を目指してコロナウイルスと戦っていきます。

